



平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社

コード番号 5310 URL <http://www.tovotanso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 尚孝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長

(氏名) 坊木 斗志己

TEL 06-6451-2114

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	30,073	9.0	5,290	21.6	5,380	29.5	3,035	5.9
23年5月期第3四半期	27,589	42.4	4,349	276.7	4,154	319.0	2,866	386.5

(注) 包括利益 24年5月期第3四半期 2,962百万円 (38.9%) 23年5月期第3四半期 2,133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	146.40	—
23年5月期第3四半期	138.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	68,185	54,260	77.4
23年5月期	65,191	51,748	77.5

(参考) 自己資本 24年5月期第3四半期 52,743百万円 23年5月期 50,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	—	—	22.00	22.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.5	6,300	7.4	6,300	12.2	4,000	8.1	192.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期3Q	20,750,688 株	23年5月期	20,750,688 株
24年5月期3Q	16,315 株	23年5月期	16,265 株
24年5月期3Q	20,734,414 株	23年5月期3Q	20,734,473 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	10
(1) 品目別の受注および販売状況	10
(2) 概況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アジア諸国をはじめとする新興国の成長に支えられ、総じて緩やかな景気回復が継続いたしました。また国内経済は、東日本大震災にともなう影響も徐々に解消し、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら夏場以降は、欧州の債務危機を契機として世界経済の減速感が強まっていることに加えて、日本においては歴史的な円高水準が足かせとなる等、国内外とも景気の下振れ懸念が高まりました。

このような状況の中、当企業グループは、環境・エネルギー関連分野に加えて一般産業用や機械用分野にも幅広く拡販を図るとともに、高付加価値品や高採算品へのシフトを推進する等、業績の拡大・改善に注力いたしました。ただし秋口以降は、急拡大を続けてきた太陽電池市場が調整局面に入り、業績にブレーキがかかりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高30,073百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益5,290百万円（同21.6%増）、経常利益5,380百万円（同29.5%増）となり、また四半期純利益は3,035百万円（同5.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。（品目別の概況は5.補足情報をご参照ください。）

日本

震災の影響も徐々に解消するとともに、復興関連需要の取り込みも図る等、景気持ち直しを背景として総じて好調に推移いたしました。その結果、売上高は15,039百万円、営業利益は2,603百万円となりました。

米国

円高の影響はあったものの、太陽電池用・化合物半導体用等を中心に回復基調が継続いたしました。その結果、売上高は2,273百万円、営業利益は127百万円となりました。

欧州

円高に加えて太陽電池用の失速等の影響はありましたが、工業炉用やブラシ用を中心に健闘いたしました。その結果、売上高は2,228百万円、営業利益は312百万円となりました。

アジア

中国を中心とする新興国の活況を背景に、主力の太陽電池用が大幅に躍進、冶金等の一般産業用も拡販が進む等、全体として極めて好調に推移して来ましたが、第3四半期に入り太陽電池用が一転大幅減となりました。その結果、売上高は10,532百万円、営業利益は2,510百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,993百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の取得による支出等により現金及び預金が1,125百万円減少したものの、売上高増加による受取手形及び売掛金368百万円の増加、中間在庫の計画的積み増し等によるたな卸資産2,478百万円の増加および有形固定資産が925百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ481百万円増加いたしました。これは主に有利子負債353百万円の減少および未払法人税756百万円の減少があったものの、原材料の調達が増加したこと等による支払手形及び買掛金467百万円の増加および設備投資により未払金が1,034百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,512百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2,579百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内外の経済環境につきましては、引き続き緩やかな回復基調が継続するとの見方がある一方、欧州の債務危機の深刻化を契機とした世界的な景気下振れも懸念される等、先行きの不透明感が強まっております。

当企業グループを取り巻く状況も、円高の定着に加えて、足もとでは主力の太陽電池市場の調整が現実化しており、足踏み状態が継続しております。当企業グループといたしましては、堅調な一般産業用や機械用等の幅広い分野での拡販に注力してカバーに努めるとともに、中長期的な成長を志向した戦略を着実に推進してまいり所存です。

以上のような状況と、当第3四半期累計期間の業績は概ね計画通りに推移していることを踏まえ、平成23年10月13日に公表した当連結会計年度通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益への影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,283,891	8,157,963
受取手形及び売掛金	13,047,069	13,415,588
商品及び製品	4,761,418	6,699,607
仕掛品	6,182,218	6,336,472
原材料及び貯蔵品	1,511,288	1,897,684
その他	1,591,422	1,759,178
貸倒引当金	△111,741	△107,137
流動資産合計	36,265,565	38,159,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,373,417	7,304,791
機械装置及び運搬具（純額）	12,096,129	11,817,529
土地	5,296,473	5,721,485
建設仮勘定	655,395	1,461,114
その他（純額）	740,800	783,286
有形固定資産合計	26,162,216	27,088,207
無形固定資産	785,261	857,875
投資その他の資産	1,978,597	2,079,826
固定資産合計	28,926,075	30,025,910
資産合計	65,191,641	68,185,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,950,193	3,417,547
短期借入金	1,406,013	1,404,493
未払金	2,538,873	3,573,607
未払法人税等	1,495,600	739,413
賞与引当金	825,271	518,984
役員賞与引当金	78,480	—
その他	1,788,486	2,258,046
流動負債合計	11,082,920	11,912,092
固定負債		
長期借入金	665,014	313,164
退職給付引当金	658,878	621,136
資産除去債務	278,121	271,247
その他	758,342	807,233
固定負債合計	2,360,356	2,012,781
負債合計	13,443,276	13,924,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,692,575	7,692,575
資本剰余金	9,534,686	9,534,686
利益剰余金	35,169,221	37,748,631
自己株式	△57,630	△57,783
株主資本合計	52,338,853	54,918,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,941	23,227
為替換算調整勘定	△1,831,083	△2,198,092
その他の包括利益累計額合計	△1,828,141	△2,174,865
新株予約権	20,088	27,900
少数株主持分	1,217,565	1,489,247
純資産合計	51,748,364	54,260,392
負債純資産合計	65,191,641	68,185,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	27,589,092	30,073,497
売上原価	18,726,356	19,854,260
売上総利益	8,862,736	10,219,237
販売費及び一般管理費	4,512,976	4,929,010
営業利益	4,349,760	5,290,226
営業外収益		
受取利息	21,191	30,819
受取配当金	5,941	11,149
通貨オプション益	73,070	32,152
訴訟関連債務戻入益	—	56,739
その他	40,597	52,808
営業外収益合計	140,800	183,669
営業外費用		
支払利息	36,352	24,960
為替差損	288,626	46,978
その他	10,799	21,823
営業外費用合計	335,778	93,762
経常利益	4,154,781	5,380,134
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,200
固定資産売却益	87,702	63,466
受入助成金	400	—
特別利益合計	88,102	64,666
特別損失		
固定資産売却損	4,016	894
固定資産除却損	16,679	51,790
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	216,240	—
過年度関税等支払額	23,894	—
特別損失合計	260,829	52,685
税金等調整前四半期純利益	3,982,054	5,392,116
法人税等	900,800	1,483,296
過年度法人税等	—	540,231
少数株主損益調整前四半期純利益	3,081,254	3,368,588
少数株主利益	214,953	333,021
四半期純利益	2,866,300	3,035,566

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,081,254	3,368,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,491	20,286
為替換算調整勘定	△953,560	△426,224
その他の包括利益合計	△948,069	△405,938
四半期包括利益	2,133,184	2,962,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,018,001	2,688,843
少数株主に係る四半期包括利益	115,183	273,806

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,000,114	2,160,597	2,260,984	8,167,396	27,589,092	—	27,589,092
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,309,770	60,625	11,875	96,462	5,478,734	△5,478,734	—
計	20,309,885	2,221,222	2,272,860	8,263,858	33,067,826	△5,478,734	27,589,092
セグメント利益又は 損失(△)	2,118,929	△15,126	308,807	1,534,913	3,947,524	402,235	4,349,760

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	11,561,310	2,061,609	2,533,805	11,218,117	7,723,321	214,248	27,589,092
割合(%)	41.9	7.5	9.2	40.6	28.0	0.8	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾、韓国

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,039,407	2,273,426	2,228,553	10,532,110	30,073,497	—	30,073,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,736,902	275,877	38,914	57,130	7,108,824	△7,108,824	—
計	21,776,309	2,549,303	2,267,468	10,589,240	37,182,322	△7,108,824	30,073,497
セグメント利益	2,603,780	127,768	312,753	2,510,953	5,555,257	△265,030	5,290,226

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	11,699,265	2,219,106	2,535,107	13,441,027	10,112,579	178,989	30,073,497
割合(%)	38.9	7.4	8.4	44.7	33.6	0.6	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米………米国

(2) 欧州………フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア………中国、台湾、韓国

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 品別受注および販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

品 目	平成23年5月期						平成24年5月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q 累計	4 Q	年度 合計	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q 累計
特殊黒鉛製品	4,900	4,413	5,285	14,600	6,158	20,758	6,154	5,440	3,265	14,859
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	628	686	699	2,015	841	2,856	860	740	726	2,327
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,190	1,003	1,217	3,411	967	4,379	1,085	821	1,072	2,978
複合材その他製品	2,462	2,093	2,144	6,700	2,549	9,249	2,121	1,880	1,749	5,750
合 計	9,182	8,197	9,347	26,727	10,516	37,243	10,221	8,882	6,813	25,916

②受注残高

(単位：百万円)

品 目	平成23年5月期				平成24年5月期		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
特殊黒鉛製品	3,336	3,328	3,834	4,787	4,956	4,494	3,712
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	418	464	512	648	748	731	706
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	679	648	947	1,030	1,128	1,017	1,176
複合材その他製品	4,406	3,865	3,799	3,930	3,508	3,055	2,612
合 計	8,840	8,307	9,094	10,397	10,342	9,299	8,208

③品目別販売実績

(単位：百万円)

品 目	平成23年5月期						平成24年5月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q 累計	4 Q	年度 合計	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q 累計
特殊黒鉛製品	4,551	4,681	5,031	14,264	5,598	19,863	5,972	5,795	4,173	15,941
【エレクトロニクス分野】	2,611	2,630	2,983	8,225	3,506	11,731	3,649	3,565	1,855	9,070
【一般産業分野】	1,737	1,844	1,810	5,392	1,846	7,238	2,035	1,946	1,972	5,954
【その他】	203	206	237	647	245	893	287	283	346	916
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	625	678	684	1,987	741	2,728	793	796	785	2,375
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,128	1,063	955	3,146	935	4,082	1,012	959	953	2,925
複合材その他製品	2,423	2,648	2,234	7,306	2,427	9,734	2,961	2,785	2,401	8,149
【主要3製品】	2,124	2,257	1,838	6,220	2,070	8,290	2,600	2,437	1,977	7,015
【その他製品】	298	391	395	1,085	357	1,443	361	348	424	1,133
商品	325	287	270	883	265	1,149	235	222	223	681
合 計	9,054	9,358	9,175	27,589	9,968	37,557	10,976	10,559	8,538	30,073

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野においては、主力用途である太陽電池用が、第2四半期までは急拡大を続け、全体を牽引しましたが、秋口以降は当初から想定したとおり大幅な調整局面に入っております。また単結晶シリコン製造用は、半導体業界の不振を受けて引き続き低調に推移いたしました。

一般産業分野では、国内景気持ち直しや新興国の成長を背景に、自動車用をはじめ工業炉用や冶金用が国内外とも健闘する等、引き続き堅調に推移いたしました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、国内景気を持ち直しに加えて震災の復興関連需要もあり、軸受け・シール材等を中心に拡販が進捗いたしました。

電気用カーボン分野は、掃除機・電動工具等の小型モーター用が、主力の中国市場における競争激化や円高の影響もあり、横這い水準にとどまりました。

複合材その他製品

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品においては、急成長の反動から調整を余儀なくされていたLED用の需要に底打ち感が見られるものの、未だ調整に時間を要しており、全体としては伸び悩みました。C/Cコンポジット製品では、工業炉用や半導体用が底堅く推移したものの、好調だった太陽電池用は第3四半期に入り失速いたしました。また黒鉛シート製品は、半導体用が伸び悩んだものの、自動車用が下支えし、総じて堅調に推移いたしました。